

浜松市図書館ビジョン(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



平成30年6月15日から7月17日にかけて実施しました浜松市図書館ビジョン(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等18人・9団体から157件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市図書館ビジョン」を策定し、平成30年11月からの実施を予定しています。今後とも、図書館事業に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ (<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>) にも掲載しております。

平成30年10月

浜松市市民部中央図書館

〒430-0947 浜松市中区松城町214-21

TEL 053-456-0234

FAX 053-453-2324

Eメールアドレス

chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	平成30年6月15日から平成30年7月17日
【意見提出者数】	18人・9団体
【提出方法】	持参(0) 郵便(0) 電子メール(18) FAX(2) 区協議会(7)
【意見数内訳】	157件 (提案 27件、要望 91件、質問 39件)
【案に対する反映度】	案の修正 8件 今後の参考 52件 盛り込み済 47件 その他 50件

目次

図書館から市民のみなさんへの約束（意見数 3件）	3ページ
市民の図書館未来宣言（意見数 2件）	4ページ
目指す方向性と実現するための施策（意見数 110件）	
《いかす》 わたしは、毎日の生活を潤すために図書館機能を活用します	
未来のショート・ストーリー（意見数 3件）	5ページ
1 ICT（情報通信技術）を活用した図書館サービス	
（意見数 6件）	5ページ
2 貸出、返却サービスの利便性向上（意見数 11件）	6ページ
3 多文化サービスの推進（意見数 4件）	8ページ
4 多様なニーズに対応した環境づくり（意見数 15件）	9ページ
《はぐくむ》 わたしは、図書館で『知る』ことを楽しみ、地域の中で成長します	
未来のショート・ストーリー（意見数 0件）	12ページ
1 子供の読書環境の充実～『子ども読書活動推進計画』の促進～	
（意見数 5件）	12ページ
2 子育て支援サービスの充実（意見数 0件）	13ページ
3 ライフステージ・ライフスタイルに応じた資料・情報提供と講座等の開催（意見数 1件）	13ページ
4 多様な資料の収集・提供（意見数 20件）	13ページ
《つながる》 わたしは、図書館で『人』と『情報』と『地域』とつながります	
未来のショート・ストーリー（意見数 3件）	17ページ

1	地域コミュニティにおける市民との協働、連携 (意見数 7件)	18 ページ
2	課題解決支援サービスの充実 (意見数 11件)	19 ページ
3	政策立案支援サービスの推進 (意見数 0件)	21 ページ
4	地域・歴史資料の収集、保存、活用 (意見数 1件)	21 ページ
5	自治体、企業、各種団体との連携 (意見数 1件)	22 ページ
	《つくる》 わたしたちの図書館を、未来に向けてつくります	
	未来のショート・ストーリー (意見数 0件)	22 ページ
1	地域の実情に応じた図書館運営 (意見数 11件)	22 ページ
2	図書館マネジメントの充実 (意見数 2件)	24 ページ
3	専門的職員の育成、確保 (意見数 6件)	24 ページ
4	図書館プロモーションの充実 (意見数 2件)	25 ページ
5	図書館評価 (意見数 1件)	26 ページ
	資料編 (意見数 21件)	
1	体系図 (意見数 0件)	27 ページ
2	現状と課題 (意見数 11件)	27 ページ
3	アンケート結果 (意見数 9件)	29 ページ
4	市民ワークショップ記録 (意見数 1件)	31 ページ
5	図書館協議会 (意見数 0件)	31 ページ
	その他 (意見数 21件)	32 ページ

図書館から市民のみなさんへの約束（3件）

要望 1	図書館が実施する取組の具体例が無いのが疑問である。「市民の図書館未来宣言」と関連づけるなど具体的な内容がほしい。
-----------------	--

【市の考え方】盛り込み済

本ビジョンでは、1ページ「市民の図書館未来宣言」に掲げた、いかす、はぐくむ、つながる、つくるという4つのキーワードごとに、目指す方向性と実現するための施策を示し、51の事業・取組を記載しています。「図書館から市民のみなさんへの約束」を具体化したものが、目指す方向性と実現するための施策となります。

質問 1	「あなたと困ったを解決します」とあるが、「と」という言い回しの意図は何か。
質問 2	あなたと「困った」を解決します、とあるが、解決するのは図書館ではなく市民ではないか。

【市の考え方】その他

冒頭のページ、「図書館から市民のみなさんへの約束」で、『図書館は、ひとりひとりの人生に寄り添い』と記載しているとおり、図書館は市民の皆さんとともに課題解決に努めるという姿勢を表現したものです。

市民の図書館未来宣言（2件）

要望 2	いかす・はぐくむ・つながる・つくる、という宣言は、図書館の機能に限ったことではなく、近未来に向かって公共の施設、社会教育、生涯学習、文化施設の共通の運営方針だと思う。どのような観点で策定されているのか疑問を持った。
-----------------	---

【市の考え方】その他

本ビジョンは、浜松市総合計画の理念のもとに策定いたします。総合計画は都市の将来像として「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」を掲げており、多方面の資料を収集、保管、提供する図書館は、創造都市実現のための礎となる施設のひとつです。市民の皆さんの課題解決のために、それぞれの生活に寄り添う存在であるべきとの考えから、「いかす」「はぐくむ」「つながる」「つくる」の4つのキーワードで施策を整理しました。

提案 1	「生活を潤すために図書館機能を活用します」の表現について、生活を潤すとの表現は図書館が生活になくても不自由しないものと受け取ることができる。図書館は個人の知る権利を求める先にある存在なので、「私は私らしく生きるために図書館機能を活用します」に変更を希望する。
-----------------	---

【市の考え方】案の修正

「生活を潤すために」とは、「生きていく日々を気持ちの上で豊かに過ごすため、生活の質を高めるために」ということを表現したもので、そのために図書館機能を活用する、という宣言としています。ご提案いただいた「私らしく生きるために」は、「市民の図書館未来宣言」の4つのキーワード全体に係る表現と考えられること、また、基本的人権のひとつとして知る自由を持つ市民の皆さんに資料と施設を提供することは、図書館の基本的かつ重要な役割であり、本ビジョンの根底にあることから、ご意見を参考に、「自分らしく生きる」という表現を「図書館から市民のみなさんへの約束」部分に盛り込みます。

《修正内容》

（修正前）

記載なし

（修正後）

冒頭のページ、「図書館から市民のみなさんへの約束」の次の行に「～あなたが、あなたらしく生きるために～」を加筆します。

目指す方向性と実現するための施策

《いかす》 わたしは、毎日の生活を潤すために図書館機能を活用します
 未来のショート・ストーリー（3件）

要望 3	物語風の表現（手法）は、市民がより身近に図書館を感じる方法として有効と思うが、現状の体制で実現が可能なのか疑問を持った。
要望 4	ショート・ストーリーの内容が図書館の利便性を伝えることができていると思うが、後半の内容が頭に入っていない。
要望 5	ショート・ストーリーについて、実際におきた話なのか、フィクションなのかわかりにくいので、不要と考える。

【市の考え方】その他

ショート・ストーリーは、市民の皆さんに本ビジョンを身近に感じていただけるよう、ビジョンが実現した未来を物語として示したものです。

ショート・ストーリーの内容が未来に向けて実現するよう、ビジョンに掲げた施策を実行してまいります。

1 ICT（情報通信技術）を活用した図書館サービス（6件）

要望 6	検索の精度を上げてほしい。タイトルを入力すると500件以上も候補が出てくることがある。また、旧字体を今の文字で入力すると「ない」と判断される。
---------	---

【市の考え方】今後の参考

図書館内の利用者端末機や図書館ホームページの蔵書検索サービスでは、本のタイトル（書名）のほか、著者名や出版年など、複数の検索条件を入力していただくと、候補を絞り込むことができます。また、図書館のコンピュータシステムでは、書名や著者名に旧字体が使われている場合でも、今の文字で検索できるような仕組みにしています。

質問 3	ICT（情報通信技術）を活用した図書館サービスは、具体的にはいつまでに、どのレベルまでの適正化、効率化を図る予定なのか。
要望 7	ICT（情報通信技術）とは何か、それによって今までと異なり何が新たに可能になるのかについて補足してほしい。
質問 4	ICTを活用した図書館サービスとは具体的にどんなものがあるか。

【市の考え方】その他

ICTとは、Information and Communication Technology の略語で、情報通信技術全般を示す言葉です。コンピュータ技術やインターネットなどのデータ通信技

術を活用して、市民が必要なときに必要な情報を的確に得られるサービスの提供を目指します。具体的な取組については、市民ニーズや情報通信技術の動向を把握しながら検討してまいります。

要望 8	いつも小説を利用しており、読む基準は賞を受賞した作品が中心である。賞や賞候補の作品から検索できるシステムができないか。
-----------------	---

【市の考え方】 今後の参考

平成 30 年 10 月 1 日に稼働の新図書館システムでは、芥川賞、直木賞等の著名な賞の受賞作品は「件名」検索で探すことができるようになりました。候補作品については検索対象になりませんので、レファレンスカウンターにお問合せいただき、書名等をご確認の上、検索していただければと思います。

質問 5	I C Tに係る事業については平成 30 年度予算に計上されているのか。
-----------------	--------------------------------------

【市の考え方】 その他

平成 30 年度予算の図書館サービスシステム維持管理事業費において第 7 次図書館管理電算システムの構築費用も含まれており、本ビジョンに関連した新たなサービスの一部がその中で実現できるよう進めています。

2 貸出、返却サービスの利便性向上（11件）

要望 9	利用者カードは、頻繁に利用しない人にとっては紛失しやすいのではないか。スマートフォンなどでも処理できるシステムがあれば、もっと気軽に利用することができると思う。
-----------------	--

【市の考え方】 今後の参考

様々な店舗等のスマートフォンアプリが普及する昨今、ご意見のように、図書館用のアプリがあれば、利用者カードの紛失を防止するだけでなく、図書館をもっと気軽に、便利に使っていただく新たなサービスの提供にも役立つのではないかと思います。今後、民間サービスの情報も収集しながら検討してまいります。

要望 10	図書館以外の施設等にブックポストを設置するよう検討してほしい。
------------------	---------------------------------

【市の考え方】 盛り込み済

ビジョン案 4 ページ、「2 貸出、返却サービスの利便性向上」の事業・取組として、図書館以外の施設等にブックポストを設置することを記載しています。今後、どのような場所への設置が効果的か、可能であるか等の検討を進めてまいります。

要望 11	資料の受取りや返却窓口をコンビニや協働センターで可能とすることや、高齢者向けに宅配サービスを行うなど、サービスの充実を図ってほしい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案4ページ、「2 貸出、返却サービスの利便性向上」の項目に記載したとおり、図書館以外の施設等にブックポストの設置を検討するとともに、高齢者や障がいのある人の視点に立った環境整備に努めてまいります。

要望 12	スーパーやコンビニに予約資料受取り場所や返却ポストを設置することは実現してほしいが、連携するスーパーやコンビニの負担を軽減するにはどうしたらいいか考えていく必要がある。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

全国的に、コンビニエンスストアでは、住民票等の取得や市民税等の納付などの行政サービスが提供されるようになっていきます。こうした民間店舗等との連携サービスにおいては、市町村側でも経費（手数料等）の負担が必要となります。実施の可能性も含め、具体的な手法について検討してまいります。

要望 13	10年前の「図書館のあり方」では物流が課題となっていたが、現在でも市内の図書館から本を取り寄せる場合、3日以上かかることがある。もっと早められないか。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

物流便（予約資料等の配送）については、以前の1ルートから2ルートに増やし、スピードアップを図りましたが、状況により日数がかかる場合もあります。北遠地域の図書館とその他の図書館との間の配送が特に課題であると考えており、今後対策を検討してまいります。

質問 6	天竜図書館だけ閉館時間が午後5時45分なのはなぜか。
-----------------	----------------------------

【市の考え方】その他

12 市町村合併後、段階的に開館時間の延長を行ってまいりましたが、地域の利用実情などを鑑み、全館統一ではなく、各館の実情に沿った開館時間としたものです。

質問 7	天竜区で行われている移動図書館「ぶっくる」について、少子化が急速に進行している天竜地域にあって将来どうなるのか。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

地域の皆さんの意見を聞きながら、地域の特性や状況の変動を把握し、実情に応じたサービスの提供方法を検討してまいります。

要望 14	子供が小さいと静かな図書館で過ごすのは難しく、自動車文庫が便利である。高齢者にも喜ばれるので、自動車文庫は絶やさないでほしい。障がい者向けの本も自動車文庫で利用できると良い。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案4ページ、「2 貸出、返却サービスの利便性向上」の事業・取組に、自動車文庫の拡充について記載しています。子供に加え、高齢者や障がいのある人の視点に立った環境整備に努めてまいります。

質問 8	自動車文庫が小学校を訪問しているが、子供たちの活用状況と、本の選定方法は？
-----------------	---------------------------------------

【市の考え方】その他

小学校では昼休みなどの限られた時間内で、児童が個々に自動車文庫内の本を選んで借りています。自動車文庫の本は担当職員の経験により選んでおり、子供たちからの要望にもできる限り応えるようにしています。

質問 9	自動車文庫は、地域要望等による訪問先の追加の余地はあるか。
-----------------	-------------------------------

【市の考え方】その他

訪問スケジュールの調整が必要となりますので、依頼の都度検討させていただきます。

要望 15	中山間地域の住民にとって自動車文庫は良いサービスであると思うので、今後も絶やさないでほしい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案4ページ、「2 貸出、返却サービスの利便性向上」の事業・取組に、自動車文庫の拡充について記載しています。また、15ページ、「1 地域の実情に応じた図書館運営」に記載したとおり、市民の皆さんの意見を聞きながら、地域の特性や状況の変動を把握し、地域の実情に応じた図書館運営を行ってまいります。

3 多文化サービスの推進（4件）

提案 2	電子図書を利用できない人のために廉価な読書専用の情報端末、タブレットのようなものの貸出しを行うのはどうだろうか。
-----------------	--

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案3ページ「1 ICT（情報通信技術）を活用した図書館サービス」の事業・取組として「3 図書館内ICT環境の整備」について示しています。こうした中で利用者用パソコンやタブレット等の端末についても検討してまいります。

提案 3	海外では図書館の有料サービスを行っているところもある。外国の方向けに、日本の図書館は無料運営が多いことを多言語で明示した看板を出入口に置いておく、又は小冊子を置いて見られるようにしておくが良いのではないか。
-----------------	---

【市の考え方】 今後の参考

浜松市立図書館では、既に多言語の利用案内等を作成し、必要に応じて配布しています。さらに、公共図書館のサービスが無料であることや、その他の有用性をPRできる多言語表示のサインの作成を検討いたします。

質問 10	電子図書はどの程度提供しているのか。
------------------	--------------------

【市の考え方】 その他

電子図書は、アメリカでは 90%の図書館で導入されていますが、日本では5%程度に留まっています。浜松市立図書館は平成 30 年 2 月から 2 年間の試行期間中で、文芸書や実用書など約 11,000 冊（平成 30 年 7 月現在）のコンテンツを提供しています。

質問 11	電子図書のコンテンツはどのように手に入れているのか。
------------------	----------------------------

【市の考え方】 その他

現在、多言語資料や日本語学習資料の充実を主な目的として電子図書の貸出しを行っています。コンテンツは、活字の図書と同様に図書館職員が選書しています。

4 多様なニーズに対応した環境づくり（15件）

提案 4	自習や読書をするとき、静かなせいで筆記用具が落ちただけでもすごく響く。本をめくる音、消しゴムを動かす音、ささいな音が響く。病院などのように音楽を流すことで、静かすぎる状況が改善されると思う。
-----------------	---

【市の考え方】 今後の参考

居心地の良い環境づくりについての今後の参考として検討させていただきます。

要望 16	市では公共施設でクールシェアをと言っているが、そのための場所が無い。閲覧室は高校生でいっぱい、ロビーには椅子も少なくゆっくり過ごすことはできない。読書してもいい、飲食してもいい、お喋りしてもいい、そんなフリースペースを作ってほしい。
要望 17	様々な年齢、いろいろな人が使いやすい図書館になってほしい。小さい子連れが気兼ねなく来られるようなスペース、静かに本を読みたい人向けのスペース、中・高校生がふらっと来ても読みたくなるような本が並んでいる、外国の方も借りたくなる本がある、など。
要望 18	図書館の空いているスペースに遊べる場所を作ってほしい。
要望 19	子供が騒いでも大丈夫なエリアがあると良いが、実際同じスペースで騒がれると迷惑なので、完全にスペース化して時間帯を限定する工夫が必要。昼間遊ぶスペースだった個室が夜には働く世代や学生のスペースになり、そのスペースはコンセントとWi-Fi完備、飲食可能であれば需要があると思う。
要望 20	お喋りができる幼い子あるいは何らかの障がいなどで図書館を静かに利用できない子や人がいる。図書館は静かにするところではあるが、何が何でも静かにしなければならないのでは、そのような人は図書館へ入れない。曜日や時間を決めて、お喋りしながら本を選べる仕組みを作ってほしい。どうしても騒がしいのが駄目な人には、サイレントルームを用意する方法もある。
要望 21	くつろげたり調べものに利用できるスペースの充実を望む。
要望 22	利用の仕方や利用者層に合わせたスペースの改善が必要ではないか。
提案 5	曜日などにより利用者層が異なると思うので、それぞれに合わせた運用とすれば利用が増えるのではないか。

【市の考え方】盛り込み済

既存の施設においてスペースの制約はありますが、ビジョン案5ページ「4 多様なニーズに対応した環境づくり」の項目に記載したように、利用者がそれぞれのニーズに沿って快適に図書館を利用できる環境づくりに努めてまいります。

提案 6	地域の店と連携して、地域の名物などを購入し、飲食できるコーナーを設けてもいいのではないかと。図書館に来た地域の人が地域の魅力を再発見するきっかけになったり、他県の人に興味を持つきっかけにもなるのではないかと。
---------	--

【市の考え方】今後の参考

様々な視点から地域情報の発信をしていくことが必要であると考えています。地域との具体的な連携方法につきましては、今後、館ごとに地域特性を踏まえ検討し

てまいります。

質問 12	読み聞かせや飲食スペースのある図書館数をおしえてほしい。
------------------	------------------------------

【市の考え方】 その他

読み聞かせは、ブックスタートも含め、駅前分室以外の 23 館で実施しています（開催日程は館により異なります）。

飲食スペースは、23 館 1 分室のうち 6 館に設置されています。飲食スペースが無い図書館でも、時間帯により飲食可能なスペースを設けているところがあります。

要望 23	図書館の講座に参加したが、とても暑く、快適な空間とは言い難かった。
------------------	-----------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

老朽化や施設の構造により冷暖房の効率が悪い図書館もあるため、各館の状況を調査し対策を考えてまいります。

提案 7	浜松は「こども第一主義」と掲げているが、もう少し全体をみて、図書館のあり方を考えてほしい。（中高校生や不登校なども含め）子供の居場所になるとよい。高齢者の居場所にもなったらいい。図書館に福祉的な機能があり、図書館から他の機関につながれば、事業所に「相談」に行くよりハードルが下がるのでは？ スペースとコーディネーターが必要。話したい人も、静かにしたい人もどちらも気持ちよくいられる図書館であるために時間を区切ってはどうか。
-----------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

年齢や社会的立場等を問わず、住民の誰もが自由・平等に利用できる図書館は、子供や高齢者等様々な人の「居場所」となり得る施設であると認識しています。「人と人」、「人と情報」をつなぐ機能を発揮できるよう努めてまいります。

提案 8	利用ニーズごとにエリア分けをするだけでなく、普段触れ合う機会の無い人と出会えるスペースも必要である。
-----------------	--

【市の考え方】 盛り込み済

図書館で利用者同士が交流できる場の設定についても検討してまいります。

質問 13	各図書館にある閲覧室では、宿題をやっていたり、席を確保したまま離席したりしているなどの利用が見られるが、図書館資料を閲覧することが本来の目的ではないのか。
------------------	---

【市の考え方】 その他

閲覧室は、図書館の本を読んだり、本を使って調べものをしたりすることを目的として提供しています。学生などへのマナーの啓発に努めてまいります。

《はぐくむ》 わたしは、図書館で『知る』ことを楽しみ、地域の中で成長します

未来のショート・ストーリー（0件）

1 子供の読書環境の充実～『子ども読書活動推進計画』の促進～（5件）

要望 24	良い企画を立案して絵本を身近に感じる生活スタイルにあった図書館利用ができるようにしてほしい。そのためには広報活動や周知方法にも工夫をしてほしい。
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

現在、保護者向けに読み聞かせの大切さを知ってもらうための講座を毎年開催しており、各館で図書館お薦め絵本のコーナーを設置し、希望される方にはリストの配布を併せて行っています。講座等イベントの周知については、広報や図書館ホームページへの掲載、チラシ・ポスターの掲出に加え、今後はSNS等を活用し、更に積極的な周知方法を検討いたします。

要望 25	ブックスタートは本来のブックスタートの意図とかけ離れた事業となっているため、見直してほしい。なぜブックスタートを始めることになったのか、効果について示すとよい。
提案 9	ブックスタートの注釈があるとよい。

【市の考え方】案の修正

ブックスタートとは、絵本を通じて親子が心ふれあうひとときを持つきっかけづくりとして、0歳児とその保護者に、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動で、行政と市民が連携して行う自治体の事業です。浜松市立図書館では、その理念に沿い、図書館等を会場に、生後8か月から満1歳の誕生日までのあかちゃんと保護者を対象に実施しています。

ご意見を踏まえ、ブックスタートについての説明を注釈として付け加えることとします。

《修正内容》

（修正前）

記載なし

（修正後）

ビジョン案6ページ「未来のショート・ストーリー」本文5行目「読み聞かせを通じた」を「ブックスタートや読み聞かせを通じた」に修正し、同じページにブックスタートについての注釈を次のとおり記載します。

※ブックスタート：絵本を通じて親子が心ふれあうひとときを持つきっかけづくりとして、0歳児とその保護者に、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動。

提 案 10	「第2次浜松市子ども読書活動推進計画」をもとに計画を進行するというが、わかりやすいように簡略な概要があるとよい。
-----------------------	--

【市の考え方】案の修正

ご意見を踏まえ、「第2次浜松市子ども読書活動推進計画」についての概要説明を、注釈として記載いたします。

《修正内容》

(修正前)

記載なし

(修正後)

ビジョン案7ページに注釈として以下のとおり記載します。

※第2次浜松市子ども読書活動推進計画：平成13年に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」などに基づき、平成23年度に策定。家庭、地域、学校、図書館等による読書活動支援の取組の指針となっている。

要 望 26	読み聞かせに活用できる大型絵本を充実させてほしい。
-----------------------	---------------------------

【市の考え方】今後の参考

読み聞かせに活用できる資料を含め、子供の読書活動推進のための資料収集と提供にいっそう努めてまいります。

2 子育て支援サービスの充実（0件）

3 ライフステージ・ライフスタイルに応じた資料・情報提供と講座等の開催（1件）

提 案 11	中学生・高校生世代を図書館ではYA（ヤングアダルト）と称するので、ヤングアダルト向けの対策（中学・高校生向け）と変更してほしい。
-----------------------	--

【市の考え方】その他

中学生・高校生向けのサービスは、青少年サービス、YA（ヤングアダルト）サービス、ティーンズサービス、と様々な名称があり、図書館によって呼び方も異なります。本ビジョンにおいては汎用性を持たせるため、YAではなく、中学生・高校生とさせていただきます。

4 多様な資料の収集・提供（20件）

要 望 27	中山間地域の図書館では地元の静岡新聞、中日新聞等の新聞は置いてあるが雑誌類が少ないような気がするので、充実してほしい。（週刊朝日、サンデー毎日、文藝春秋、中央公論等）
-----------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

浜松市立図書館では、23館1分室の所蔵のバランスを考慮しながら、各館に置

く雑誌を年度ごとに決めています。選定の際には、利用者の皆さんからのご意見も参考にしています。また、予約制度により、ご希望の市内所蔵雑誌を最寄りの図書館でお借りいただけます。

要望 28	郷土資料等、現在の浜松市及び合併前の各市町村の資料の充実を望む。
------------------	----------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 12 ページ「4 地域・歴史資料の収集、保存、活用」に記載したとおり、郷土資料の充実に努めてまいります。

要望 29	すべての図書館が同じような本ばかりというのではなく、各図書館によって選書に特徴があって、A図書館は歴史ものが得意、B図書館は繊維のことが得意、C図書館は楽器のことが何でも分かるなど、地域特性を活かしたものだ面白いのではないか。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

市民の誰もが平等に図書館サービスを受けられることを基本とし、資料の収集は全館共通の選定基準に基づき行っておりますが、その中でも館ごとに地域特性を活かした資料収集に努めてまいります。

要望 30	中央図書館の一括選書ではなく、各館の選書については各館長の把握するところとしてほしい。
質問 14	図書館の本の選定はどのように行っているのか。

【市の考え方】その他

選書方法は、各地区館でまず選書を行い各館長が取りまとめています。その後、蔵書全体のバランスを考慮し、中央図書館で調整し、決定しています。

要望 31	新刊をもっと購入してほしい。地図は年に1回ぐらいは新しいものを購入してほしい。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

地図や旅行関係の本は他の本よりも頻繁な更新に努めています。今後も新刊の購入には留意してまいります。

提案 12	成人の知的障がい者を支援しており、マルチメディアデイジー教科書で勉強したいと希望している。日本障害者リハビリテーション協会に問い合わせたが、一般成人は利用できないとのことなので、マルチメディアデイジー教科書を図書館に置いて誰でも利用できるようにしてほしい。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

マルチメディアデイジー教科書は「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等に関する法律」により、利用対象は「通常の教科書では読むことが困難な児童、生徒」に限定されています。教科書センターに指定されている中央図書館ほか2館では、サンプル版を借り受けることが可能ですが、利用者への提供は館内視聴にとどめるよう規定されています。障がいのある人に提供できる他のマルチメディアデイジー資料は、今後も収集を進めてまいります。

提案 13	多くのLD（ディスレクシア）の子供たちは、知識を得たり学んだりすることを欲しているにも関わらず、識字に困難を持っていることで、本を読むことが好きでなくなってしまう。聴覚からの情報を得ることが得意な子はデイジー図書に触れ、視覚からの情報（絵や写真）を得ることが得意な子は漫画に触れることで文章を読む力を高めていくことができる。多様な脳のタイプの人に学びや知識を得ることを保証するという視点からも、デイジー図書や漫画などの図書を増やしてほしい。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

通常の図書による読書が困難な子どもたちへのサービスも、児童サービスの一環として取り組むべきものと考えています。マルチメディアデイジー等様々な形態の資料も、今後提供の対象として検討してまいります。

要望 32	マンガを置いてほしい。本はなかなか手に取ることがなくてもマンガなら読みやすく、マンガをきっかけに本を読むこともあると思う。
要望 33	歴史漫画は学びの入口に適していると思うので入れてほしい。
要望 34	学習マンガを置いてほしい。
要望 35	「日本の歴史」やドラえもん、ちびまるこちゃんの学習シリーズ、はだしのゲンなど学習効果の高い漫画も置いてあるとよい。

【市の考え方】今後の参考

漫画形式の図書については、製本が堅ろうでないものが多いこと、視覚的効果が強い特性を持つことを考慮し、資料の耐久性や描写、内容を確認して個別に判断してまいります。特に児童を対象とする資料については、描写や内容の正確性等、より慎重な検討が必要と考えています。

要望 36	本を読むことは学校での学習とは違う学びの入口になる。特に本を読まない、本に抵抗のある家庭で育つ子に本に触れる機会を与えるような選書はできないか。(漫画、デージー図書、ライトノベル等)
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

通常の図書による読書が困難な子供たちへの読書支援として、デージー図書等様々な形態の資料の提供も、今後検討してまいります。

要望 37	新作映画の本を置いてほしい。
------------------	----------------

【市の考え方】今後の参考

個々の作品や資料の出版情報等を確認し、公共図書館での提供に相応しいものについては、収集に努めてまいります。

要望 38	子供の本をもっと置いてほしい。
------------------	-----------------

【市の考え方】今後の参考

子供時代に豊かな読書体験を持つことは、豊かな心を育み、生きる力を身に付けることにつながります。図書館では、次代を担う子供向けの図書の収集に今後も積極的に取り組んでまいります。

要望 39	子供に置いてほしい本のアンケートを行ってほしい。
------------------	--------------------------

【市の考え方】今後の参考

未来を担う世代の意見も大変重要であると考えていますので、今後、意見を得る方法を検討いたします。

質問 15	「効果的なコーナー設置」とあるが、期待する効果とはどのようなものであるか。
------------------	---------------------------------------

【市の考え方】その他

特定分野やテーマについての資料をコーナーとして設置することで、図書館を利用する方が効率的に必要な資料にたどり着き、利用の利便性を高めるとともに、コーナーの資料を目にすることで、興味・関心の幅を広げていただきたいと考えています。

要望 40	地域ごとの特色や歴史、産業の情報を得られるような資料を置いてほしい。
------------------	------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 12 ページ「4 地域・歴史資料の収集、保存、活用」に記載したとおり、地域の特色や歴史、産業に関する情報も収集してまいります。

要望 41	病気や障がいによって、あるいは高齢化によって、一般図書の利用が厳しくなっている人向けのサービスを進める研究をしてほしい。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

多様化する市民の知的要求に対応できるよう、様々な形態の情報提供やサービスについて、先進事例を参考にするなど、調査・研究してまいります。

要望 42	人気のある本は順番で長く待たされるという状況を改善してほしい。
------------------	---------------------------------

【市の考え方】その他

ベストセラーなど人気の高い本は他の本に比べある程度多めに購入していますが、予約者が多くご不便をおかけしています。蔵書全体のバランスを考慮した購入を行っていますので、ご理解くださるようお願いいたします。

《つながる》 わたしは、図書館で『人』と『情報』と『地域』とつながります
未来のショート・ストーリー（3件）

要望 43	「つながる」の内容は素晴らしいと思うが、そのためのスペースを作るために書架を縮小し蔵書数が減ってしまっは本末転倒である。
------------------	--

要望 44	同じ課題をもった市民が集まって自主的に話し合える（課題解決を目指す）グループワークルームのようなものを作っていくことに取り組んでほしい。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

図書館機能の根幹である多様な資料の収集と提供に努めながら、「つながる」機能を有した図書館を目指したいと考えています。そのため、書架及びその他のスペースの効率的な活用方法を検討してまいります。

要望 45	「つながる」だけでなく「つなげる」ことが必要である。自閉症のような子供でも利用可能な図書館であってほしい。図書館は難しい本が多いので、漫画やイラストを含む本があってもいい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

図書館が「人と人」、「人と情報」を「つなげる」ことが必要と考えています。ビジョン案の4つのキーワードは市民目線の表現としたため、「図書館が・つなげま

す」ではなく「わたしは・つながります」という書き方になっています。

ビジョン案9ページ「4 多様な資料の収集・提供」にお示ししているように、障がいのある人にも活用していただける資料の収集と提供に努めます。

1 地域コミュニティにおける市民との協働、連携（7件）

要望 46	地域で行われている活動を紹介するブースの充実を図ってほしい。
------------------	--------------------------------

【市の考え方】今後の参考

現在、いくつかの図書館に地域の文化や産業を紹介する展示スペースを設けております。今後もさらに地域の団体や学校、企業との連携を強化し、充実を図ってまいります。

要望 47	地域とのつながりのための学校との連携として、学校に行きにくくなってしまった子や不登校の子の居場所になることができるような空間を作ってほしい。学校が無理でも、図書館が人と交流できる初めの一歩になったら素敵だと思う。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

図書館は、子供にとって、家庭と学校に次ぐ第3の居場所となり得る施設であると認識しています。子供が「人」や「地域」とつながることができるという観点からも、図書館の役割を捉えたいと思います。

要望 48	中山間地域と都市部など、浜松市内の異なる地域をつなぎ、互いに興味や理解を深められるような企画を実施するのはどうか。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

これまでに、中山間地域を走るJR飯田線にまつわる講演会や展示を中央図書館で開催し、好評を博した事例があります。今後も様々な企画の中で、互いの地域をつなぎ理解を深める事業を推進してまいります。

提案 14	図書館で調べた知識をもって、人や団体とつながり、その先はどうするか？ 従来の図書館はそこで終わりだと思うが、これからはアウトプット（具現化）できる施設（環境）が求められるのではないか。例えば、FabLabのような施設を図書館に作ってはどうか。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

本市には協働センター等の公共施設が各地域にあります。地区図書館と隣接する形態の施設もあり、今後は、他の施設との連携により、浜松市ならではのアウトプットの手法を検討してまいります。

要望 49	行政が決めるのではなくて、市民と一緒に図書館を作れるとよい。図書館だけではなく、教育や福祉と連携がとれると良い。図書館は多様な人が利用できる施設で、他者を知ることができる貴重な場ともいえる。互いが共存できるよう、多様な意見を聞き、市民の参画できる場をつくってほしい。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 11 ページに記載したとおり、本ビジョンでは、市民協働による市民のための図書館を目指しています。市民の声や力を図書館運営に活かせるよう、今後具体的な連携方法を検討してまいります。

提案 15	寄附という形で地域の人が持っている本を集め、店舗窓口や待合室に置くような取組はできないか。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見を参考に、本を活用した、地域における住民交流支援についても今後検討してまいります。

質問 16	サービスを拡げるだけでなく、廃止するサービスがなければ無理がある。協働センターも地域コミュニティの核であるとされているが、図書館との機能の棲み分けはないのか。
------------------	---

【市の考え方】その他

新たなサービスの実現のためには、サービス全体の見直しが必要です。協働センターは地域住民によるコミュニティ活動を通じた地域づくりの機能、図書館は市民の知る自由を保障する機能が核となっていると考えています。その上で、図書館が持つ情報収集力及び提供力を活かして市民の主体的な学習活動及び情報交流の場となるよう努めます。

2 課題解決支援サービスの充実（11件）

要望 50	郷土資料のデータベース化、電子書籍化をぜひ実現してほしい。
------------------	-------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 12 ページ「4 地域・歴史資料の収集、保存、活用」の項目に、こうした資料のデータベース化、デジタル化について記載しています。現在、郷土資料の一部を「浜松市文化遺産デジタルアーカイブ」として、ホームページで公開しています。電子書籍化については、著作権法等法令上の課題整理や電子書籍の普及状況等の情報収集を行いつつ検討してまいります。

要望 51	MLA連携の推進をぜひ実現してほしい。情報の連携も重要だが、企画の連携もしていくとより地域が盛り上がるのではないか。図書館と博物館が共同でワークショップを企画したりするとよいと思う。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 12 ページ「4 地域・歴史資料の収集、保存、活用」にMLA連携

の推進を掲げております。ご意見のとおり、資料・情報の連携に加え、講座やワークショップ等の企画の連携も検討してまいります。

提
案
16

デジタルアーカイブとMLA連携に注釈があるとよい。

【市の考え方】案の修正

ご意見を踏まえ、ビジョン案 13 ページにデジタルアーカイブについての注釈を記載します。MLA連携についての注釈は、13 ページに既に記載してあります。

《修正内容》

(修正前)

記載なし

(修正後)

ビジョン案 13 ページに注釈を以下のとおり記載します。

※デジタルアーカイブ：貴重な文化財等をデジタル情報として記録・保存し、次世代に継承していくもの。デジタル化により、破損を恐れずインターネットで自由に閲覧することが可能となる。

提
案
17

浜松企業の貴重ナマ情報を商工会議所、地域イノベーションセンター、業界団体等の機関と連携、生きた地域産業情報を管理提供する窓口整備

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 13 ページ「5 自治体、企業、各種団体との連携」の事業・取組に、「地域団体や各関係機関との連携による図書館事業の充実」と記載しています。

新たな価値を創出するためには、産・学・官の連携が必要不可欠と考えていますので、今後の連携体制を整える上で、それぞれが持つ情報を共有できる可能性を調査・研究してまいります。

提
案
18

図書館資料活用に関わる著作権等知的所有権扱いの相談窓口

【市の考え方】盛り込み済

図書館資料の活用に関わる著作権等の相談には現状でも対応しています。

要
望
52

博物館など他の公共施設とコラボレーションした資料・展示コーナーを設けて、地域の催しや情報に触れられる機会を作してほしい。

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 13 ページ「5 自治体、企業、各種団体との連携」に地域団体や各関係機関との連携による図書館事業の充実を掲げております。ご意見のとおり、他の公共施設との連携も検討してまいります。

要望 53	図書館に論文検索のデータベースがほしい。
------------------	----------------------

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 11 ページ「2 課題解決支援サービスの充実」の事業・取組として「1 商用データベース等を活用したレファレンスサービスの充実、認知向上」と記載したとおり、データベースの充実を図ってまいります。

質問 17	図書館の職員すべてが同じ知識ではないと思うが、司書はどのくらい配置されているのか。
------------------	---

【市の考え方】その他

司書率は全館平均で約7割となっています。

要望 54	今後、ニーズの多様化、高度化が予想されることから、専門的な情報を得るためにも、大学やシンクタンクなどと幅広く提携していくことを望む。
------------------	--

要望 55	専門的な資料を揃えている大学図書館とネットワークを作れないか。
------------------	---------------------------------

提案 19	浜松の大学図書館ネットワークと市民サービス窓口（浜松医科大学、静岡大学工学部、静岡文化芸術大学、光産業創生大学院大学他と連携、専門性の高い情報を市民も共有できる窓口整備）
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 11 ページ「2 課題解決支援サービスの充実」に記載したとおり、大学を含む関係機関との連携、協力体制のもと、課題解決支援サービスの充実を図ってまいります。

3 政策立案支援サービスの推進（0件）

4 地域・歴史資料の収集、保存、活用（1件）

質問 18	デジタルアーカイブの公開では、どんなものをどの程度提供しているのか。
------------------	------------------------------------

【市の考え方】その他

公開資料は浜松市史や井伊直虎関係資料、古地図、絵図等、312 タイトルあり、公開してから約 290 万件のアクセスがあります。

5 自治体、企業、各種団体との連携（1件）

提案 20	音楽都市を象徴する情報拠点の機能充実（楽器博物館、NHKアーカイブス、浜松音楽ライブラリー、ヤマハ音楽振興財団、ヤマハイノベーションロード、カワイ等との連携）
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案13ページ「5 自治体、企業、各種団体との連携」の事業・取組に、「1 地域団体や各関係機関との連携による図書館事業の充実」と記載しています。音楽関係資料についても充実と情報提供に努めてまいります。

《つくる》 わたしたちの図書館を、未来に向けてつくります
未来のショート・ストーリー（0件）

1 地域の実情に応じた図書館運営（11件）

要望 56	市は一律に予算を削るのではなく、図書館の役割を考慮し、柔軟性をもって地域に必要なサービスのしくみをつくってほしい。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

施設やサービス等、地域ごとの実情に合わせた図書館機能の充実を図るよう努めてまいります。

要望 57	「市民に開かれた運営」を望む。選書から施設のスペース利用など、幅広く市民から意見を聞いてほしい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案11ページに記載したとおり、本ビジョンでは、市民協働による市民のための図書館を目指しています。市民の声や力を図書館運営に活かせるよう、今後具体的な連携方法を検討してまいります。

提案 21	地域のニーズに合う図書館にするためには、図書館ごとに目標値や取組の優先度を変える必要がある。図書館ごとの目標値を明記してから実施することで、図書館ごとの取組はずいぶん変わってくると思う。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

図書館ごとの目標の設定及び評価の方法については、今後検討してまいります。

要望 58	地域の実情に応じた図書館運営とあるが、現在進行している図書館の改築案などの情報を誰にでもわかるように図にしたり、グラフにして掲示してほしい。
------------------	--

【市の考え方】その他

施設の改築などの情報については、市全体の計画に基づき進めてまいります。図書館につきましては、現時点で進行しているものはございません。

要望 59	建物全体は無理でも、冷房や暖房、トイレなどは新しくしてほしい。利用者が快適と感じなければ何度も活用しようとは思えない。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

空調やトイレ等の小規模改修は、建築物の寿命や機能維持に大きく影響する部位を優先的に改修又は更新しています。今後も利用者の皆さんが使いやすく快適に過ごせるよう、施設の維持管理に努めてまいります。

要望 60	分館の増館（ザザシティや病院、公立小中学校など）
------------------	--------------------------

【市の考え方】今後の参考

本市には 23 館 1 分室の図書館が設置され、政令指定都市中 3 番目の規模であり図書館数としては充実していると考えています。今後は、サービススポット（予約資料受取り専用等）の設置について調査研究してまいります。

要望 61	トイレの洋式化
------------------	---------

【市の考え方】今後の参考

トイレの洋式化については、順次行っているところであり、雄踏・細江・引佐図書館以外は完了しています。

また、上記 3 館についても、平成 30 年度中に実施する予定です。

要望 62	駐車可能台数を増やす
------------------	------------

【市の考え方】今後の参考

既存の図書館において新たな駐車場の確保や敷地内で駐車可能台数を増やすことは困難な状況ですが、今後も可能性を探ってまいります。

要望 63	ルールの違いに考慮した子供優先エリアと大人優先エリアを明確に分ける（階を分けるなど）
------------------	--

要望 64	障がい者にも配慮したフロアづくり
------------------	------------------

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 5 ページ「4 多様なニーズに対応した環境づくり」の事業・取組として「1 親子で気兼ねなく利用できるよう、児童書エリアの改善」及び「2 サイレントスペース、グループ利用スペースの設置」に示すとおり、居心地のよい環境づくりに努めます。

提 案 22	行政のPR室を設けた館があっても良いのではないか。
-----------------------	---------------------------

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 12 ページ「3 政策立案支援サービスの推進」の事業・取組として「3 図書館での啓発活動や講座・イベント等、行政情報の発信、連携」に示すとおり、関係部署との連携により、行政情報の発信を効果的に実施していくよう努めます。

2 図書館マネジメントの充実（2件）

要 望 65	指定管理者制度の導入は否定しないが、以前より本の知識がない人が受付業務に携わっていることが増えた印象がある。すべてのスタッフが図書館の様々な機能について知識を持ち、図書館が「知る自由を保障する場所」であるという意識を持ってほしい。スタッフの研修に力を入れてほしい。
-----------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

選書やレファレンス、企画運営等、図書館職員としての専門性の向上は、本ビジョンの実現のためにも大変重要であると考えています。計画的な研修を実施し、職員の資質向上に努めてまいります。

質 問 19	指定管理館は中央図書館の承諾を得て事業を行っている。ビジョン推進のために改修が必要となれば予算は市が持つのか。資料購入費も削られ、購入数が減っている。ビジョンの理想を実務とどう結びつけるのか。
-----------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

指定管理館では、指定管理者の発想やノウハウにより様々な事業を行い、地域に親しまれる図書館を目指しています。事業実施に際しては、市の承諾を得ることが基本協定書に定められております。また、施設改修や資料費につきましては、市が各館の管理者と調整を図りながら、改善に努めてまいります。ビジョン案 16 ページ「2 図書館マネジメントの充実」に記載のように、市と指定管理者が本ビジョンを共有し、パートナーシップを大切にしながら実現に努めたいと考えています。

3 専門的職員の育成、確保（6件）

要 望 66	事業が増えれば図書館職員への負担も増える上に、図書館員は知識などを学び続けていかなければならないので、職務体系を見直すなど、注意しながらビジョン遂行を考えてもらいたい。
要 望 67	これらの取組を新たに始め、継続していくのなら、司書と図書館に関わる人の負担は増えると思う。市民の幸せを願うと約束している以上、関係者の待遇改善も取り上げるべきである。
要 望 68	司書がよりよいサービスを提供できるように積極的に専門性を高めようと努力できる状態が望ましいため、雇用条件の向上をすべきと考える。

【市の考え方】今後の参考

本ビジョンの実現のために、図書館職員が職務に意義を感じ、専門性の向上に

意欲を持ち続けられるよう、健全な職場環境の維持を進めてまいります。

要望 69	学校図書館司書についても言及してほしい。公共図書館と学校図書館司書の共同研修を実施してほしい。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

学校図書館につきましては、ビジョン案7ページで示した「浜松市子ども読書活動推進計画」の中で言及しています。

司書教諭や学校図書館担当教諭と補助員それぞれの資質向上を図るための研修の充実や、市立図書館と学校図書館との連携を進めてまいります。

要望 70	館長職においても有資格者が務めることとしてほしい。
------------------	---------------------------

【市の考え方】今後の参考

レファレンス等図書館サービス業務においては司書の専門性が求められます。一方で、館長は職員の配置や指導といった管理職としての業務が求められます。資格の有無に関わらず、館長職には幅広い知識と指導力が必要と考えています。

質問 20	司書資格のある専門職員はほとんどが外部委託の職員であると聞いたが、実情はどうか。
------------------	--

【市の考え方】その他

司書資格を有する者の割合は、指定管理等で約7割、図書館に勤務する市職員で約5割となります。

4 図書館プロモーションの充実（2件）

要望 71	市内で活動するNPO法人のイベントのちらし、ポスターの掲示配布が受け入れてもらえないことがある。情報発信の観点からもないがしろにせず、掲示に努めてほしい。今後、デジタルデータの活用なども検討してほしい。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

現状では、浜松市やその関係機関、国や地方公共団体等の主催、共催又は後援事業について、ちらしやポスターの掲示等をお受けしています。掲示スペース等が限られているため、希望されるすべてをお受けすることは難しい状況ですが、地域情報の発信の観点から、今後デジタルデータの活用も含め方策を検討してまいります。

要望 72	各図書館のイベント情報について、インターネットを開かなくても、ポスターや一覧表など、紙媒体でわかるものがほしい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 16 ページ「4 図書館プロモーションの充実」に記載したように、

より多くの市民に様々な図書館サービスを周知するよう、紙媒体も含め効果的な広報に努めてまいります。

5 図書館評価（1件）

提 案 23	年度ごと、図書館ごとの評価をし、公表するとしてほしい。
-----------------------	-----------------------------

【市の考え方】今後の参考

現在、年度ごとに各図書館及び図書館全体の評価を行い、全体評価を公表しています。また、指定管理館については、年度ごと・図書館ごとに事後評価を行い、公表しています。

資料編

1 体系図（0件）

2 現状と課題（11件）

質問 21	施設・設備の老朽化、修繕費増大の課題について、具体的な対応策、コストはいかがか。また、現在の各図書館建屋の耐震性評価はどうか。
------------------	---

【市の考え方】その他

老朽化が進んでいる施設につきましては、長寿命化のための改修を「浜松市公共施設等総合管理計画」に基づき実行してまいります。

各図書館の耐震性につきましては、耐震促進法において、すべての図書館で安全なランクとなっています。

質問 22	中央図書館のマネジメント能力向上についての具体的な対応計画はどうか。
------------------	------------------------------------

【市の考え方】その他

中央図書館のマネジメント能力向上のためには、職員ひとりひとりの資質向上とノウハウの蓄積を図ることが重要となります。司書の専門研修への計画的な参加や、全国の先進事例の研究などにより、広い視野でマネジメント能力を高めていきたいと考えています。

要望 73	開館日の拡大や開館時間の延長に取り組んできたというが、まだ月曜日休館が多いと思う。今後も引き続き検討してほしい。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

開館日の拡大や開館時間の延長及び休館日の見直しについては、これまで地域の実情を勘案しながら段階的に行っており、月曜日以外を定休日とする館や、全ての曜日を開館とする館を増やしてきました。現在月曜日が休館となっている図書館については、地域の実情や利用状況に応じて考えてまいります。

質問 23	市民ニーズに合わせた多様な資料の収集と効果的な提供について、具体的な改善方法、スケジュールはどうか。
------------------	--

【市の考え方】その他

日々の窓口対応やアンケート等で市民ニーズを把握しながら、23館1分室全体の蔵書構成や館ごとの特性に配慮した資料収集を行ってまいります。

質問 24	社会的コモンズとしてのサービスについて、具体的な内容と必要性は。
------------------	----------------------------------

【市の考え方】その他

ひとりひとりへの読書機会の提供や個人の課題解決への支援だけではなく、図書館の資料と場所を活用した、人と人、人と地域がつながるための機能が図書館に求められていると考えています。利用者同士の交流の場の提供や、地域課題の共有・解決のための講座やイベント等の開催などを検討してまいります。

質問 25	今後、廃止や簡素化、統合などを考えているサービスはあるか。
------------------	-------------------------------

【市の考え方】その他

新たなサービスの実現のためには、既存のサービスの見直しが必要と考えています。市民の皆さんのご意見を参考に、サービスの内容について検討してまいります。

質問 26	レファレンス（調べもの）サービスの需要変化への対応として、司書の育成計画と図書館全体の要員計画とコストは。
------------------	---

【市の考え方】その他

多様なレファレンスに的確に対応できる職員の育成とスキルの継承のため、研修に係る費用も含め年度ごとに研修計画をたて、基礎から応用まで、それぞれの業務経験年数に応じた研修に参加します。国や県が主催する研修のみならず、専門機関や関係団体が実施する有効な講座等へも積極的に参加し、外部研修に参加した職員は内部研修の講師となることで研修内容の定着と共有化を図ります。

提案 24	浜松市の図書館は蔵書数など恵まれていると思うが、せっかくの蔵書をもっと活用してもらおうよう、PRを行うべきである。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

ビジョン案 16 ページ「4 図書館プロモーションの充実」に記載のとおり、ホームページやSNSの活用などに加えた効果的なPR方法について、検討してまいります。

質問 27	現在、どのくらいの人が図書館を利用しているのか。
------------------	--------------------------

質問 28	図書館利用者カードは市民の何パーセントの人が持っているのか。
------------------	--------------------------------

【市の考え方】その他

平成 29 年度統計では、人口の約 22%が図書館の利用者カード登録をしております（有

効登録者数 174,802 人)、来館者数は市内全館で 2,766,545 人(市民 1 人あたりに換算すると 3.4 回来館)となっています。

質問 29	利用者について、年代別に利用の偏りがみられるのなら、その偏りにどのように対応していくか検討できるのではないか。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

年代別の利用統計等から利用傾向を把握し、対応策を検討してまいります。

3 アンケート結果(9件)

要望 74	多様な言語でアンケートを実施することで多文化共生の目標にも貢献できると考える、HICE(浜松国際交流協会)など多文化共生に関わっている人の意見も聞いた方がいい。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

多文化共生を目的として試行運用している「はままつ電子図書」のPRイベントの際に、外国人市民や多文化共生に関わる人から意見をお聞きしています。今後も様々な方法で意見をお聞きしながら、多文化サービスを推進してまいります。

要望 75	車の運転ができない18歳未満の意見が反映されているとは思えない。公共交通機関が普及していない浜松の交通事情では、中学・高校生が自分で移動できる場所に適切な図書館がない。どの図書館について満足しているかも不明瞭で、アンケート結果からみても課題が見えにくいと感じる。
------------------	---

【市の考え方】その他

「浜松市立図書館利用に関するアンケート」には、18歳未満の利用者からも回答を得ております。満足度については、浜松市立図書館全体に対する評価としてお示ししたものです。

質問 30	自動車文庫や宅配サービスの現状はどのようになっているのか。
------------------	-------------------------------

【市の考え方】その他

4台の自動車文庫が122カ所のサービスポイントを訪問し、子供から高齢者まで、幅広く貸出しを行っています。宅配サービスについては、現在のところ視覚障がい者の方向けの郵送貸出しについて実施しています。

質問 31	図書館を利用しない利用者の意向はどのように把握するのか？
------------------	------------------------------

【市の考え方】その他

広聴モニター(図書館利用の有無に関わらず、住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の市民でモニター協力を承諾していただいた方)へのアンケートや、市のホームページ、図書館以外の施設等でのイベント時のアンケート実施を考えて

います。

質問 32	満足度など高評価であるが、他市の状況と比較してどうか？
------------------	-----------------------------

【市の考え方】 その他

統計数値の比較では、『日本の図書館 統計と名簿 2017』（発行：公益社団法人日本図書館協会）によると、図書館数では政令指定都市中第3位、市民1人あたりの蔵書数では第2位となっています。満足度については、自治体によって評価基準が異なるため、比較は難しいと考えています。

質問 33	今後はどのような点を重点的に充実していくのか。
------------------	-------------------------

【市の考え方】 盛り込み済

本ビジョン全体を通してお示ししているように、公立図書館の核となる資料の充実と効果的な提供に加え、人と人をつなぐということや、人とまちをつなぐことにも貢献したいと考えています。

要望 76	広聴モニターアンケートの対象分類が「若者」「子育て」「中高年」「高齢者」となっており、わかりにくい。説明を加えてほしい。
------------------	--

【市の考え方】 案の修正

ご意見を参考に、ビジョン案 31 ページに対象分類ごとの年齢等を記載します。

《修正内容》

(修正前)
記載なし

(修正後)
ビジョン案 31 ページ 「2 調査実施概要」右横に以下の表を記載します。

世代	年齢	人数	割合
若者	18歳～34歳	64人	28.8%
子育て	35歳～49歳	76人	34.2%
中高年	50歳～64歳	42人	18.9%
高齢者	65歳～79歳	40人	18.0%

質問 34	アンケートをみると様々な機能を求める声があるが、相反する意見もあり、どのように調整するのか。
------------------	--

【市の考え方】その他

多様なニーズがあり、ひとつの施設ですべての要望をかなえることは課題が多いところですが、運営面の工夫等によりできる限り対応していきたいと考えています。

質問 35	広聴モニターアンケートの問4「図書館の望まれる機能について」の中の「カウンセリングコーナー」とはどのようなものを想定しているのか。
------------------	---

【市の考え方】その他

市民ワークショップで、「図書館に、本以外のことでも相談できる専門家のいるコーナーがあると良い」とのご意見があり、アンケート項目に加えたものです。様々な分野の専門家による、身近な暮らしの相談コーナーで、専門機関等の案内につなげていくようなものを想定しています。

4 市民ワークショップ記録（1件）

質問 36	協働センターを会場に行われたワークショップ（まち歩き）ではどのような意見がでたのか。
------------------	--

【市の考え方】その他

「実際に歩いたことで、まちの魅力を多く発見できたが、魅力を広く発信することが課題である」「図書館がまちの案内所のような役割を果たせないか」「まちのところどころにサテライト図書館があると良い」などの意見がありました。

5 図書館協議会（0件）

その他（21件）

質問 37	他県にも素晴らしい図書館があるが、ビジョン策定にあたり、市は参考とする図書館を見学し、その内容を踏まえているのか。
------------------	---

【市の考え方】その他

複数の事例を視察するなど情報収集をし、本ビジョン作成の参考としました。特定の図書館のやり方を模倣するのではなく、様々な図書館の良いところを学習し、本市としての図書館ビジョンに活かしたいと考えています。

要望 77	本来の公共図書館の役割を洗い出し、それに対して何ができていて何ができていないのか？ できていないこととできていることそれぞれの、浜松市の図書館の原因、課題の分析が読み取れなかった。さらに加えて市民の生活環境や社会生活の変化に伴う、図書館の役割の変化を検討されているか。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

図書館の使命は、図書館法に示されるとおり、資料の収集、整理、保存、提供により市民の皆さんの教養、調査研究、レクリエーションに資することにあります。また、本ビジョンの策定にあたっては、アンケートや市民ワークショップでの意見を踏まえ、図書館の新たな役割について検討しています。

なお、既に行っていることと、今求められていることについては、ビジョン案23ページ「2 現状と課題」の項目に整理し、お示しました。

要望 78	個人個人が、SNSで気軽に情報が得られ、検索も手軽にできる時代、図書館は「本」という物的な知的財産を、どのように収集し、将来の市民のために保管、運用するのか？「本」というメディアを媒体に市民は図書館で何を体験できるのか？すべきか？図書館は市民に何を提供すべきか？を導けるビジョンが必要である。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

SNSなどのデジタル媒体は情報の即時性、拡散性に優れています。一方、信頼性の高い大量の情報を長い期間に渡って保管できることが「本」の長所です。また、探しているものとは異なる情報との偶然の出会いや装丁の美しさに触れることができる点なども「本」の魅力です。ビジョン案9ページ「4 多様な資料の収集・提供」でお示ししているとおり、図書館では選書基準に沿って「本」を中心とした多様な資料を収集し、レファレンスや各種事業を通じて市民の皆さんの活用に供してまいります。

要望 79	多くの事業が挙げられており、市民の声に耳を傾けより良いものにしていこうという姿勢が強く感じられたが、全体的に多くのことに手を出し過ぎのように感じた。どの事業を優先的にやっていきたいのか、特に力を入れたいのはどこなのかを示す必要があると思う。資金や具体的な目標数値、実現期限などを公表することで市民は信頼をもって図書館の活動を受け入れることができるだろう。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

本ビジョンの施行に伴い、今後の重点的な取組について、パブリック・コメントへ寄せられたご意見を参考に具体的に検討してまいります。

要望 80	市民に読ませたいと考えているなら、長々しくて読みづらい資料でパブリック・コメントを求めるべきではない。ページレイアウトやデザインを考え直すべき。
------------------	--

【市の考え方】その他

本ビジョンは、市民ワークショップや市民アンケートをもとに、基本理念と目指す方向性及び取組を体系化した構成となっています。本文は17ページにまとめてありますが、本ビジョンの背景となる資料も参考として加えたため、全51ページとなったものです。

提案 25	図書館が取り組もうとしている活動がわかりづらい。市民からの意見を踏まえた「事業・取組」の順番で記載した方がわかりやすい。
------------------	--

【市の考え方】その他

「みなさんからの意見」の部分は、市民ワークショップやアンケートによる意見の一部を抜粋し、例として示したものです。この他にも含めた多くの意見から総合的に事業・取組を記載しました。このため、例としての「みなさんからの意見」は各項目の最後に記載しました。

要望 81	図書館でしかできないサービス（レファレンス、読み聞かせ、子育て支援）を強化して取り組んでほしい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

本ビジョンでは、レファレンスサービスの充実、子供の読書活動の充実、子育て支援サービスの充実を掲げています。ご意見のとおり、いずれも図書館として強化すべきものと認識しています。

要望 82	子供たちにも「こんな図書館がほしい」ということを考える場を提供してあげてほしい。
------------------	--

【市の考え方】その他

図書館ボランティアや図書館での体験学習に参加した子供たちから意見をもらうなど、より広く子供たちの意見を得る方策を検討してまいります。

提案 26	パブリック・コメント素案は中学生が意見を出せるレベルのものがほしい。「こんな図書館があってほしい」という意見が中学生レベルでも言えるようなくみづくりが必要ではないか。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

パブリック・コメントの意見の提出は中学生でも可能です。未来を担う中学生の意見も大変重要であると考えていますので、今後、図書館ボランティアや図書館での体験学習に参加した中学生から意見をもらうなど、中学生の意見を得る方策を検討してまいります。

要望 83	ビジョンには具体性がなく、実現性や採算性が不明なため、これを前提にして事業を進めてゆくことには大きな不安を感じる。項目ごとに具体的な実施計画、スケジュール、コストを明示して、パブリック・コメントを取り直した方がよい。
------------------	--

【市の考え方】その他

本ビジョンは未来の図書館像についての方向性を示す指針であり、個々の具体的な事業については、パブリック・コメントの意見も参考に、今後重点的な取組を検討してまいります。

要望 84	パブリック・コメントの実施期間が1か月では短いのではないか。
------------------	--------------------------------

【市の考え方】その他

市のパブリック・コメント実施要項に基づき実施し、各区の協議会でも意見聴取をさせていただきました。ご理解の程お願いいたします。

要望 85	子育て中の人意見が多く反映されるとよい。
------------------	----------------------

【市の考え方】今後の参考

多くの皆様のご意見を、具体的な取組の参考にさせていただきたいと考えています。

質問 38	平成20年度策定の「浜松市立図書館のあり方」の内容を教えてください。
------------------	------------------------------------

【市の考え方】その他

「浜松市立図書館のあり方」では、主な取組として、図書館空白地域解消のために東部地域及び北部地域への図書館設置及び自動車文庫の拡充を掲げました。また、サービス面では、図書館ホームページの改修や学校図書館支援センター機能の中央図書館内への設置など、いずれもこの10年間で実現に結びつきました。

提案 27	文章内にカタカナ語や専門用語が多く、わかりにくい。注釈をつけるのではなく、用語の後に括弧書きで説明を補足表記したり他の言い回しにしたりする方が良いのではないか。
要望 86	注釈を入れてあるのはありがたいが、説明文が若干わかりにくい。

【市の考え方】案の修正

ご意見を受け、全体を改めて見直し、カタカナ語の一部に説明を加えます。説明が短文となるものは括弧書きで補足し、長文となるものは欄外に注釈を加える形とします。

《修正内容》

ビジョン案3ページ 「1 ICT（情報通信技術）を活用した図書館サービス」
（修正前）
記載なし

（修正後）

SNSについて同ページに注釈を次のとおり記載します。

※SNS：Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略。インターネットを介して人間関係を構築する場を提供するサービスで、フェイスブックやツイッターなどがある。

ビジョン案5ページ 「4 多様なニーズに対応した環境づくり」
（修正前）

「サイレントスペース、グループ利用スペースの設置」

（修正後）

「サイレントスペース（静かさを重視するスペース）、グループ利用スペースの設置」

その他、ビジョン案6ページ「ブックスタート」については要望25・提案9で記載したとおり、7ページ「第2次浜松市子ども読書活動推進計画」については提案10で記載したとおり、12ページ「デジタルアーカイブ」については提案16で記載したとおり、それぞれ注釈を加えます。

要望 87	市内の図書館それぞれに役割を持たせながら、全体として「知る権利」を保障する仕組みがあれば良いと思う。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

浜松市立図書館として統一した機能が必要であり、その上で、それぞれの図書館が特性を持ち地域に合わせた図書館運営を行うことが大切であると考えています。

要望 88	図書館は静かにするところと思っていたが、人と人、人と情報、人と地域をつなぐ、という言葉が新鮮に感じられる。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

情報と人、人と人をつなぎ、新たな価値を創出する地域の情報交流拠点を目指したいとの考えから、ビジョン案 11 ページにそのように記載したものです。

要望 89	人と人が交流する機能は他にあるのだから、図書館がそこに踏み込まず、知の殿堂としての機関であれば良いのではないか。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

図書館法に基づく、資料の収集、整理、保存、提供という図書館の本来機能はこれからも失うことなく、その上であらたな価値を創りだしていきたいと考えています。

要望 90	市民ニーズが現在と過去とではどう違い、どう解決できていないのか、どうするのが見えてこない。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

10 年前までは、図書館空白地域の解消等ハード面の充実が課題となっており、流通元町図書館や都田図書館の開館、新たな自動車文庫配置などにより、課題の解決を図ってきました。これからは、サービス面の充実として、ひとりひとりへの読書機会の提供や個人の課題解決への支援だけではなく、図書館の資料と場所を活用した、人と人、人と地域がつながるための機能が求められています。図書館法に基づく、資料の収集、整理、保存、提供という図書館の本来機能を核としつつ、図書館が持つ情報収集力及び提供力を活かして市民の主体的な学習活動及び情報交流の場となるよう努めてまいります。

質問 39	先駆的な他市の取組にはどのようなものがあるか。
------------------	-------------------------

【市の考え方】その他

図書館機能に加え 3 つの機能（青少年活動支援・生涯学習支援・市民活動支援）を備えた「武蔵野プレイス」（東京都武蔵野市）や、学びに関する創造的な活動を市民と共に実践している「伊丹市立図書館 ことば蔵」（兵庫県伊丹市）、市民活動センターや多文化交流プラザとの複合による「岐阜市立中央図書館(みんなの森 ぎふメディアコスモス）」（岐阜県岐阜市）、マナーの範囲内での会話や飲食を自由とするなど従来の図書館イメージにとらわれない取組により、中心市街地の活性化に寄与している「安城市図書館情報館（アンフォーレ）」（愛知県安城市）などがあります。

要望
91

先駆例も市民に提示し十二分に意見を聴き取った上で、ランニングコストも含めて検討していく必要がある。

【市の考え方】今後の参考

新たなサービスの実施にあたっては、市民意見と先進事例を参考にしながら、十分な検討を行ってまいります。